

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	小林千尋	
科目名	キャリアプランニング 1		必修・選択	必修	
単位数	1 単位	授業形態	講義	年次	1 年
総授業数(予定)	17 コマ	授業場所	MIT普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	希望する業種・職種で職を得るために、効果的で適正な就職活動を行うべく、実務的な準備(履歴書作成など)とキャリア教育(各種自己分析など)を通じて実践的なレベルを目指す。				
◆概要	自己分析を通じて自分のゴールを再度確認する。履歴書は自らの歴史と自分自身をPRするものなので、広義のとなる。また、実際の就職活動により密着した自己PRや仮の志望動機も作成してみる。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	「キャリア」とは、2年間の心構え、卒業生の内定先・就活について、「振り返り」				
第2週	ライフライン分析とキャリアパス				
第3週	「職業興味と職業適性」				
第4週	履歴書作成① 履歴書とは、履歴書左側を記入・作成				
第5週	履歴書作成② 履歴書右側を記入・作成 「ジョハリの窓」				
第6週	履歴書作成③ 「エゴグラム」 自己PR作成				
第7週	履歴書作成④ 「能力と適性」 自己PR作成				
第8週	履歴書作成⑤ 「良いところさがし」 自己PR作成				
第9週	中間テスト 模擬履歴書の作成				
第10週	企業研究①こんな仕事をしてみたい、雇用条件は				
第11週	企業研究②(求人票を使って)求められる人材とは				
第12週	履歴書作成⑥ 仮志望動機の作成				
第13週	履歴書作成⑦ 仮志望動機の作成				

第14週	履歴書作成⑦ 仮志望動機の作成
第15週	一般教養とSPI
第16週	一般教養とSPI
第17週	期末テスト 履歴書の作成
3. 履修上の注意	
筆記用具を持参	
4. 使用教材（テキスト等）	
プリント教材	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価OR相対評価	
絶対評価で中間・期末テスト、授業態度、出席状況、課題提出・内容	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー 1		必修・選択（注記）	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	タッチタイピング、基本的なWindows操作ができる マイクロソフトWordでビジネス文書の作成ができる 各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「ワープロ検定」に合格する				
◆概要	ワープロ検定の問題を解きながら、タイピングの基礎、Windows操作、Wordによる文書作成を習得する。10月に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	パソコンおよびWindowsの基本操作およびWiFi・プリンター等の設定確認、習熟度調査 タッチタイピングの基本および日本語文章入力				
第2週	タッチタイピングの基本および日本語文章入力 Windows、Wordの基本操作				
第3週	日本語文章入力（計測） ワープロ検定3級程度の問題解法				
第4週	日本語文章入力（計測） ワープロ検定準2級程度の問題解法（複雑な表）				
第5週	日本語文章入力（計測） ワープロ検定2級程度の問題解法（インデント・きりとり線）				
第6週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第7週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第8週	中間試験 ワープロ検定準2級程度の問題				
第9週	日本語文章入力（計測） ワープロ検定準1級程度の問題解法				
第10週	日本語文章入力（計測） ワープロ検定準1級程度の問題解法（図形描画）				
第11週	日本語文章入力（計測） ワープロ検定1級程度の問題解法（図形描画）				
第12週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習				
第13週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習				

第14週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第15週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第16週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第17週	期末試験 (習熟度に応じた級別)
3. 履修上の注意	
課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
検定過去問題のプリントなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 絶対評価 授業態度 20%、中間・期末試験 50%、課題・小テスト 30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	色彩・ラッピング 1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	配色の基本、色をもたらす心理的効果、生活の中での色のもたらす効果などを学び、色のコーディネートや日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。／ラッピングの基礎からアレンジ方法までを学び、テーマに沿ったラッピングができるようになる。				
◆概要	色のはたらきや性質、「色」の表し方や混色理論などの基礎知識、色のもたらす心理的効果、カラーコーディネート基礎を学ぶ。配色(色の組み合わせ)については、主に「PCCS」(色彩体系の一つ)をもとに学んでいく。／ラッピングの基礎とアレンジの方法を学び、さまざまな形のラッピング技術を習得する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Macのセットアップ作業				
第2週	色のはたらき、光と色(光とは)、光と色(光の性質、眼のしくみ)／ラッピングの基礎				
第3週	光と色(眼のしくみ、照明)／ラッピングの基礎				
第4週	光と色(混色)／ラッピングの基礎				
第5週	色の表示(色の分類と三属性)／ラッピングの基礎				
第6週	色の表示(色の分類と三属性)、当色相面と色立体／ラッピングの基礎				
第7週	色の表示(PCCS)／ラッピングの基礎				
第8週	色の表示(PCCS) PCCSカラーダイヤル作成／ラッピングの基礎				
第9週	中間試験 色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第10週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第11週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第12週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第13週	色彩調和(色相から配色を考える)／ラッピングの基礎				

第14週	色彩調和(色相から配色を考える)／ラッピングのアレンジ
第15週	色彩調和(トーンから配色を考える)／ラッピングのアレンジ
第16週	色彩調和(色相とトーンを組み合わせる)／ラッピングのアレンジ
第17週	色彩調和(配色の基本技法)／ラッピングのアレンジ 配色イメージ
第18週	期末試験
3. 履修上の注意	
課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。	
4. 使用教材(テキスト等)	
『色彩検定公式テキスト3級編』 新配色カード 12色程度の色鉛筆 はさみ のり	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	高橋	
科目名	デッサン 1		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	307	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	「表現力(技術)の向上」「観察力の向上」「物の本質を見抜く力の向上」を目指す。じっくりとモチーフを観察し、材質、感触、陰影などを根気よく丁寧に時間をかけて仕上げる作業は、表現する者・表現を生業にする者にとって非常に重要な基礎である。知識を得て観察をし繰り返し練習することで表現に欠かせないデッサンの基礎を身に着ける。				
◆概要	鉛筆デッサンを中心に様々な知識を学び、また繰り返し練習することで観察力と表現力・気付く力を身に着ける。鉛筆の持ち方からはじめ、鉛筆を用いた表現方法、様々な形態・素材のスケッチ、ハッチングで陰影をつける練習などを段階的に行う。最終的には自由にレイアウトしたモチーフのデッサンを行い、前期のまとめとする。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	基礎デッサン: デッサン導入・道具の確認／クロスハッチング				
第2週	基礎デッサン: クロスハッチングによるグラデーション練習				
第3週	基礎デッサン: 手のデッサン／提出				
第4週	基礎デッサン: 円の描き方				
第5週	基礎デッサン: 球体のデッサン／提出				
第6週	基礎デッサン: 透視図				
第7週	基礎デッサン: 角柱のデッサン(1)				
第8週	基礎デッサン: 角柱のデッサン(2)／提出				
第9週	基礎デッサン: 円柱のデッサン(1)				
第10週	基礎デッサン: 円柱のデッサン(2)／提出				
第11週	基礎デッサン: 様々な素材のデッサン(1)				
第12週	基礎デッサン: 様々な素材のデッサン(2)				
第13週	基礎デッサン: 様々な素材のデッサン(3)				

第14週	基礎デッサン:モチーフの組み合わせ(1)
第15週	基礎デッサン:モチーフの組み合わせ(2)
第16週	基礎デッサン:モチーフの組み合わせ(3)
第17週	基礎デッサン:モチーフの組み合わせ(4)／提出
第18週	
3. 履修上の注意 デッサンとは造形の基礎であり、観察力と集中力の持続を要する。非常に根気のいる作業が続くが、絵の得意不得意に関わらず、真摯で丁寧な取り組みを求める。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] スケッチブック、鉛筆、ミリペン、練りゴム [個人で用意するもの] 都度指示する。	
5. 単位認定評価方法 評価基準:絶対評価 制作物提出および課題に関する評価60%、授業姿勢に関する評価40%	
6. その他 フリーのイラストレーターとして県内外で活動している。その経験を活かし、クライアントが期待するものに対しどのように対応していくかなど含め授業に還元していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	ITリテラシー		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	Macおよび内臓のアプリケーション、ネットワークやメールの設定などPC環境を把握し設定することが できる知識を身に付ける 後半では、海のPRポスターコンテスト参加のための制作時間とする				
◆概要	講師が準備するレジュメをもとに学習する				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	Macセットアップ				
第2週	Macの基本操作				
第3週	Macの基本操作				
第4週	Pagesの基本				
第5週	Pagesの基本				
第6週	Numbersの基本				
第7週	Numbersの基本				
第8週	検定課題				
第9週	中間課題: 検定課題提出				
第10週	Keynoteの基本				
第11週	Keynoteの基本				
第12週	Keynoteの課題				
第13週	Keynoteの課題				

第14週	課題発表会・回収
第15週	うみぼす課題制作
第16週	うみぼす課題制作
第17週	うみぼす課題制作
第18週	うみぼす課題制作
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの] ・レジュメ、板書資料、 [個人で用意するもの] ・ノートパソコン	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	中村・栗田	
科目名	映像編集技法		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	・カメラ操作の基本をマスターする ・完成形をイメージし、構図、光を意識した撮影ができるようになる ・フォトマスター検定3級合格程度の知識を身に付ける ・動画制作の基礎を身につける				
◆概要	デジタルカメラやスマートフォンの高性能化、SNSの普及などで、写真がより身近なものになってきました。趣味だけでなく、さまざまな業種において情報発信などのツールとして、写真の重要性は年々高まってきています。 ただし写真の基本はフィルムカメラ時代から受け継がれてきた技術がベースとなっています。この科目を通して、カメラ操作および撮影の基本を学習し、思い描いたイメージ通りの写真を撮れるようになることを目指します。 ・絵コンテ制作から動画の書き出し、アップロードまでの作業をこなすことができる				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	自己紹介、カメラを使った仕事について 動画の性質について				
第2週	一眼レフカメラの基本操作について CMの研究と絵コンテ起こし				
第3週	撮影実習 絵コンテをVコンテに変換する(Premierの基礎)				
第4週	撮影実習講評 Premiereの基本操作				
第5週	カメラ操作 Premiereの基本操作				
第6週	カメラ操作 実写動画の企画・撮影				
第7週	カメラ操作 実写動画の企画・撮影				
第8週	カメラ操作 実写動画の企画・撮影				
第9週	カメラ操作 動画の発表・課題提出				
第10週	カメラ操作 AffterEffectsの基本				
第11週	テーマ撮影実習 AffterEffectsの基本				
第12週	テーマ撮影実習 AffterEffectsの基本				

第13週	テーマ撮影実習 AffterEffectsの基本
第14週	撮影実習 AffterEffectsの基本
第15週	写真講評(前回、および夏季休暇中に撮った写真を使って講評を行う) 最終課題の企画編集
第16週	テーマ撮影実習 最終課題の企画編集
第17週	テーマ撮影実習 最終課題の企画編集
第18週	まとめ 課題提出・評価
3. 履修上の注意 ・カメラは個人で保有している人は持参してもらう。ない場合は学校のカメラ機材を使用し、不足分についてはお互い融通しながら使う。 ・課題によってはプリントした写真も使う。写真プリントの費用は各自負担となる。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] プロジェクター、ノートPC、カードリーダー [個人で用意するもの] レンズ交換式カメラ(あれば)	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他 学生の理解度等によって授業内容は変更になる場合がある。 講師について: 安曇野市 ワイルドベリーフォト代表 写真家よりカメラの使い方や撮影方法の基礎を学びます。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田／溝口	
科目名	アート・デザイン概論		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	なし	実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	クリエイティブの基礎となる文字・色・言葉について、講義と演習を交えて学習し、状況にあった文字選び、色選び、言葉の作り方、ビジュアル表現の習得を目指します。 前期修了作品:オリジナル欧文フォント制作				
◆概要	アートと違いデザインは職能です。ルールを守り適切な答えを導き出すことで、様々な問題を解決することが出来ます。この科目では問題解決のための基礎となる知識や、後期から行うDTPの際に必要なバランス感覚を養うための基礎トレーニングを繰り返し行います。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	職業講話 プロフィールカラーージュ導入				
第2週	色のイメージ効果① プロフィールカラーージュ				
第3週	色のイメージ効果②・色彩基礎 プロフィールカラーージュ				
第4週	色相環 書体基礎①				
第5週	色相環+COLORS IMAGES 和文フォント+フォントで名刺ws				
第6週	COLORS IMAGES フォントで名刺ws				
第7週	COLORS IMAGES+色設計 フォントで名刺ws				
第8週	色設計 書体基礎②導入・Trajan				
第9週	キャッチコピー 書体基礎③ローマン体				
第10週	キャッチコピー 書体基礎④ 銅板・手描き風・ブラックレター				
第11週	キャッチコピー 書体基礎⑤ゴシック・フォント名テスト・書体基礎⑥変わり種書体 オリジナル欧文書体考案				
第12週	キャッチコピー オリジナル欧文書体考案				
第13週	オリジナル欧文書体考案・決定				
第14週	オリジナル欧文トレス				

第15週	オリジナル欧文トレス
第16週	オリジナル欧文トレス
第17週	オリジナル欧文トレス提出
3. 履修上の注意 コラージュ用素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] ・作品台紙用ケント紙 ・CMYW+Kアクリル絵の具 ・名刺WS用紙 ・オリジナル欧文フォント用紙(はがきサイズ) [個人で用意するもの] ・ノートパソコン ・コラージュ素材(雑誌・新聞・フリーペーパー・他) ・絵の具セット(筆や筆洗いなど小中高で使用したものでも可) ・サインペン(黒 太め・細め) ・定規	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他 デザイン事務所でざいんと(http://designto.info/)代表。主に県内で活躍。日々の実務内容を授業を実施する中で学生に還元していただき、クリエイターとしての心構えや技術を教育していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	江藤	
科目名	ネットワークリテラシー		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	メディアリテラシーとインターネットを理解するための基礎知識に加え、インターネットを中心としたICTやIoTを安全に使うことができるような情報モラル、コミュニケーションとメディア、情報セキュリティ、著作権について詳しく身につける。またHTMLとCSSの基礎をテキストを使用しながら学んでいく				
◆概要	【前半】毎時間配布するプリントに回答していき、一定時間でミニテストや中間試験を実施する。 【後半】HTMLとCSSについてテキストを基準にホームページ制作を行っていく				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	水曜日：メディアリテラシー例題80問 解答・解説 木曜日：HTMLの基礎				
第2週	水曜日：C1 メディアを理解するための基礎 木曜日：HTMLの基礎				
第3週	水曜日：C2 インターネットを理解するための基礎知識 木曜日：HTMLの基礎				
第4週	水曜日：C3 情報モラル 木曜日：HTMLの基礎				
第5週	水曜日：C4 コミュニケーションとメディア 木曜日：HTMLの基礎				
第6週	水曜日：C5 情報セキュリティ 木曜日：HTMLの基礎				
第7週	水曜日：C6 著作権 木曜日：HTMLの基礎				
第8週	中間試験週 リテラシーに関する知識テスト				
第9週	HTML+CSS標準入門 L1 Webデザインのいま				
第10週	HTML+CSS標準入門 L2 Webサイトを制作する準備				
第11週	HTML+CSS標準入門 L3 HTMLとCSSの基礎				
第12週	HTML+CSS標準入門 L3 HTMLとCSSの基礎+L4 HTMLとCSSの応用				
第13週	HTML+CSS標準入門 L4 HTMLとCSSの応用				

第14週	HTML+CSS標準入門 L5 シンプルなWebページをつくる
第15週	HTML+CSS標準入門 L6 シングルページのサイトを作る
第16週	期末試験週 L6で仕上げたページをオリジナル編集し、作品として提出
第17週	課題制作
第18週	課題制作 提出

3. 履修上の注意

- ・前半は試験、後半は作品提出での成績評価とします。

4. 使用教材（テキスト等）

[学校側で用意するもの]

- ・レジュメ、板書資料、

[個人で用意するもの]

- ・ノートパソコン、配布されたテキスト

5. 単位認定評価方法

評価基準: 相対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

前職にてWebECサイトの構築などを経験。その経験を活かし、実際の現場で必要だった技術またはクライアントからあった要望についての具体的な例を授業内で還元していただいている。

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	デザインツール		必修・選択	選択必修	
単位数	4単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	70コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	IllustratorとPhotoshopの基本操作を学び、Illustratorクリエイター能力認定試験とPhotoshopクリエイター能力認定試験の検定合格を目指す。				
◆概要	テキストや検定過去問題をもとにそれぞれのアプリの基本操作を学ぶ。基本操作を習得後は検定対策を行う。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	Macのセットアップ作業				
第2週	Illustrator 基本操作				
第3週	Illustrator 図形描画・文字入力				
第4週	Illustrator 図形描画・文字入力、アレンジ				
第5週	Illustrator 図形・文字のアレンジ、新機能				
第6週	Illustrator 検定対策				
第7週	Illustrator 検定対策				
第8週	Illustrator 検定対策				
第9週	Illustratorクリエイター能力認定試験 受験				
第10週	photoshop 基本操作				
第11週	photoshop 写真補正の基本				
第12週	photoshop 写真補正の応用				
第13週	photoshop テキストやオブジェクトの加工・写真や文字の合成・新機能				

第14週	photoshop 検定対策
第15週	photoshop 検定対策
第16週	photoshop 検定対策
第17週	photoshop 検定対策
第18週	Photoshopクリエイター能力認定試験 受験
3. 履修上の注意	
課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
『初心者からちゃんとしたプロになるPhotoshop基礎入門』／『Photoshopクリエイター能力認定試験問題集』	
5. 単位認定評価方法	
評価基準：絶対評価 授業態度 20%、III検定合格 30%、Photo検定合格 30%、課題 20% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	小林千尋	
科目名	キャリアプランニング2		必修・選択	必修	
単位数	1 単位	授業形態	講義	年次	1 年
総授業数(予定)	17 コマ	授業場所	MIT普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	キャリアプランニング1をベースに、就職活動をより円滑に進めるための実務の実践的レベルを目指す。				
◆概要	面接と電話応対を中心に、求人票の見方や企業情報の収集にも力を入れる。送付状や封筒の記入など実践直前の内容となる。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	ビジネスマナーと面接について				
第2週	面接練習①				
第3週	面接練習②				
第4週	面接練習③				
第5週	電話応対①				
第6週	電話応対②				
第7週	電話応対③				
第8週	リクナビを活用した就活講座				
第9週	中間テスト 一般教養とSPI				
第10週	リクルートスタイル講習会				
第11週	就活用写真撮影				
第12週	企業情報収集とビジネスマナー				
第13週	就職ラリー準備				

第14週	送付状、お礼状、封筒の記入①
第15週	送付状、お礼状、封筒の記入②
第16週	求職票の作成
第17週	期末テスト 求職票の作成(清書)
3. 履修上の注意	
筆記用具を持参	
4. 使用教材（テキスト等）	
プリント教材	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価OR相対評価	
絶対評価で中間・期末テスト、授業態度、出席状況、課題提出・内容	
6. その他	
「リクナビ登録・就活講座」、「リクルートスタイル講習会」、「就活写真撮影」は外部との調整上、スケジュールが前後したり、その影響で他のスケジュールが動く場合があります。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー 2		必修・選択（注記）	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	マイクロソフトExcelでビジネス資料の作成ができる 各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「情報処理検定（表計算）」に合格する				
◆概要	表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式の入力、グラフ作成等について習得する。2月に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	Excel基本操作				
第2週	関数を使った計算式				
第3週	関数を使った計算式、グラフ				
第4週	表計算検定3級の問題解法 問題演習				
第5週	問題演習				
第6週	問題演習				
第7週	表計算検定2級の問題解法				
第8週	問題演習				
第9週	問題演習				
第10週	問題演習				
第11週	表計算検定1級の問題解法				
第12週	各級問題演習				
第13週	各級問題演習				

第14週	各級問題演習
第15週	各級問題演習
第16週	各級問題演習
第17週	検定受験(期末試験)
3. 履修上の注意	
課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
検定過去問題のプリントなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 絶対評価 授業態度 20%、中間・期末試験 50%、課題・小テスト 30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	色彩・ラッピング2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	2
総授業数(予定)	18コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	配色の基本、色をもたらす心理的効果、生活の中での色のもたらす効果などを学び、色のコーディネートや日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。 ／テーマに合うボトル、ジャム瓶、立方体、直方体の4種のラッピングの方法と調和を考え、ラッピングする。				
◆概要	色のはたらきや性質、「色」の表し方や混色理論などの基礎知識、色のもたらす心理的効果、カラーコーディネート基礎を学ぶ。配色(色の組み合わせ)については、主に「PCCS」(色彩体系の一つ)をもとに学んでいく。検定合格に向けて、過去問題を中心に問題演習に多く取り組む。 ／テーマに沿った包装紙・リボン・オーナメント、ラッピングの方法を考え形にする。				
2. 授業内容(週単位で記入)					
第1週	ファッションと色彩				
第2週	ファッションと色彩				
第3週	インテリアと色彩・色名 過去問解答・解説				
第4週	過去問解答・解説				
第5週	過去問解答・解説				
第6週	過去問解答・解説				
第7週	過去問解答・解説 期末試験				
第8週	本試験答え合わせと解答解説				
第9週	期末課題(ラッピング)				
第10週	期末課題(ラッピング)				
第11週	期末課題(ラッピング)				
第12週	期末課題(ラッピング)				
第13週	期末課題(ラッピング)				

第14週	期末課題(ラッピング)
第15週	期末課題(ラッピング)
第16週	期末課題(ラッピング)
第17週	期末課題(ラッピング)
第18週	期末課題(ラッピング)
3. 履修上の注意	
課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
『A・F・T色彩検定公式テキスト3級編』 新配色カード 12色程度の色鉛筆 はさみ のり	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。 期末試験の得点が低くD評価だった場合、本試験合格で単位認定する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	高橋	
科目名	デッサン2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	「表現力(技術)の向上」「観察力の向上」「物の本質を見抜く力の向上」を目指す。じっくりとモチーフを観察し、材質、感触、陰影などを根気よく丁寧に時間をかけて仕上げる作業は、表現する者・表現を生業にする者にとって非常に重要な基礎である。知識を得て観察をし繰り返し練習することで表現に欠かせないデッサンの基礎を身に着ける。				
◆概要	前期で習ったことを踏まえ、基礎デッサンを繰り返しながらさらに高次元の表現力および応用を身に着ける。また点描や鑑賞など鉛筆にこだわらない表現方法や知識を通し、デッサンを介して美術全体への様々な理解と技術を深める。最終的には構図を学び、構図を意識したデッサンを行うことで一年間のまとめとする。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	前期の復習:クロスハッチングとグラデーション練習				
第2週	基礎デッサン:クロッキー(1)				
第3週	基礎デッサン:クロッキー(2)				
第4週	基礎デッサン:顔のパーツのデッサン				
第5週	基礎デッサン:点描(1)				
第6週	基礎デッサン:点描(2)／提出				
第7週	基礎デッサン:水彩基礎(1)				
第8週	基礎デッサン:水彩基礎(2)				
第9週	石膏デッサン(1)				
第10週	石膏デッサン(2)				
第11週	石膏デッサン(3)				
第12週	石膏デッサン(4)／提出				
第13週	鑑賞				

第14週	構図を意識したデッサン(1)
第15週	構図を意識したデッサン(2)
第16週	構図を意識したデッサン(3)
第17週	構図を意識したデッサン(4)／提出
第18週	
3. 履修上の注意 デッサンとは造形の基礎であり、観察力と集中力の持続を要する。非常に根気のいる作業が続くが、絵の得意不得意に関わらず、真摯で丁寧な取り組みを求める。	
4. 使用教材(テキスト等) スケッチブック、鉛筆、練りゴム、ミリペン、クロッキー帳、筆ペン その他必要な画材は都度指示するので持参すること。	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 絶対評価 制作物提出および課題に関する評価60%、授業姿勢に関する評価40%	
6. その他 フリーのイラストレーターとして県内外で活動している。その経験を活かし、クライアントが期待するものに対しどのように対応していくかなど含め授業に還元していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	プロフェッショナル		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	プロの技術者の方から現場の話を聞くことにより、見聞を広める				
◆概要	県内の業界第一線で活躍されるプロの方を非常勤講師でお招きし、こだわり・信念・どうやって仕事にしているかなどを直接講義、演習いただく				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	玉木美企子様(コピーライティングについて)				
第2週	玉木美企子様(コピーライティングについて)				
第3週	玉木美企子様(コピーライティングについて)				
第4週	玉木美企子様(コピーライティングについて)				
第5週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第6週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第7週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第8週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第9週	中間試験週				
第10週	藤原印刷様(インクについて)				
第11週	藤原印刷様(会社について)				
第12週	藤原印刷様(画像補正について)				
第13週	藤原印刷様(製本について)				

第14週	課題制作
第15週	課題制作
第16週	課題制作
第17週	課題制作
第18週	
3. 履修上の注意	
プロの講師の方は都度、変更の可能性がある。 また、県内においてまん延防止策などが発令された場合は、オンライン授業などに切り替える場合がある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
特になし	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 絶対評価 授業態度 20%、中間・期末試験 50%、課題・小テスト 30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。 期末試験の得点が低く D 評価だった場合、本試験合格で単位認定する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	クラフト実習		必修・選択（注記）	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	カッティングプロッター、レーザーカッター等を使用して、イメージする作品を制作できるようになる。				
◆概要	紙、木材などの材料を用いて、用途に合う機械を使用して作品を制作する。企画、試作、改善を繰り返す中で、材質やデータでの設計、機械の使用方法を理解し自身がイメージするものに仕上げていく。レジンの基本的な制作方法も学ぶ。中間課題・期末課題に関しては、自分の作りたい作品を素材選びから行い、カッティングプロッターやレーザーカッターを用いて仕上げていく。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	各種機械の紹介 カッティングプロッターの使用法、設計方法の説明				
第2週	パッケージデザインと展開図				
第3週	角箱				
第4週	さまざまな形の立方体				
第5週	オリジナルパッケージ制作				
第6週	オリジナルパッケージ制作				
第7週	レーザーカッターの使用法、設計方法の説明				
第8週	木製コースターの制作				
第9週	木製コースターの制作				
第10週	クリスマスオーナメント制作				
第11週	クリスマスオーナメント制作				
第12週	クリスマスオーナメント制作				
第13週	レジンの基本、作品制作				

第14週	期末課題(モバイル制作)
第15週	期末課題(モバイル制作)
第16週	期末課題(モバイル制作)
第17週	期末課題(モバイル制作)
3. 履修上の注意	
課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
プリントなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 絶対評価 授業態度 20%、中間・期末課題 50%、小課題 30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	溝口	
科目名	DTPデザイン演習		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	32コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	年賀状デザインでは「比喻表現」と「イラスト表現」を、デザイン基礎ではDTPデザインの基礎を、メニューデザインではDTPデザインの実技を、地元ポスターでは「知る」「調べる」「表現する」のデザイン考案・表現の基礎を実践し習得を目指します。前期修了作品：年賀状・メニューデザイン・地元ポスター				
◆概要	後期からは前期で学んだ基礎をベースに、パソコンを用いて実習形式で課題制作を行います。各課題では「着想」「発案」「実技」の過程を実践的に学び、実社会で役立つ技術と、クリエイティブな着想・発想の基礎を学びます。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	年賀状デザイン				
第2週	年賀状デザイン				
第3週	年賀状デザイン				
第4週	デザイン基礎				
第5週	メニューデザイン				
第6週	メニューデザイン				
第7週	メニューデザイン				
第8週	メニューデザイン				
第9週	メニューデザイン				
第10週	メニューデザイン				
第11週	地元ポスター				
第12週	地元ポスター				
第13週	地元ポスター				

第14週	地元ポスター
第15週	地元ポスター
第16週	地元ポスター出力・パネル貼り
3. 履修上の注意	
・年賀状用素材・地元ポスター素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 ・年賀状制作・地元ポスター制作に関する費用は各自負担となる。 ・アイデア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの] ・パンフレット用紙 ・カメラ等撮影機材	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと(http://design.to.info/)代表。主に県内で活躍。日々の実務内容を授業を実施する中で学生に還元していただき、クリエイターとしての心構えや技術を教育していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	溝口	
科目名	Webサイトデザイン 1		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	Webサイトの組立からコーディング、公開まで一連の流れを習得した後、ポートフォリオサイトを制作して就職活動に役立てる。				
◆概要	前期で学んだ基礎をベースに、パソコンを用いて実習形式で課題制作を行います。各課題では「デザイン」「コーディング」「オリジナルデザイン」の過程を実践的に学び、実社会で役立つ技術を学びます。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	Webサイトデザイン				
第2週	Webサイトデザイン				
第3週	Webサイトデザイン				
第4週	Webサイトデザイン				
第5週	Webサイトデザイン				
第6週	Webサイトデザイン				
第7週	Webサイトコーディング（HTMLマークアップ）				
第8週	Webサイトコーディング（HTMLマークアップ）				
第9週	Webサイトコーディング（HTMLマークアップ）				
第10週	Webサイトコーディング（HTMLマークアップ）				
第11週	Webサイトコーディング（HTMLマークアップ）				
第12週	Webサイトコーディング（Scss）				
第13週	Webサイトコーディング（Scss）				

第14週	Webサイトコーディング (Scss)
第15週	Webサイトコーディング (Scss)
第16週	Webサイトコーディング (Scss)
3. 履修上の注意	
・ポートフォリオサイトについては冬季休暇中に制作を進めること。 ・ポートフォリオサイト制作に関する費用は各自負担となる。	
4. 使用教材 (テキスト等)	
[学校側で用意するもの] ・レンタルサーバー (卒業時に内容は削除します) [個人で用意するもの] ・ノートパソコン	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと代表 WEBページデザインの実務経験より、WEBページの作成方法やデザインを学びます。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 コミックイラストレーター専攻		担当者	高橋	
科目名	カラーイラスト演習		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	イラストレーションの基礎としてカラー画材の技術習得は必要不可欠なものとなる。画力向上の基礎練習を行いつつ、色鉛筆・水彩絵の具・コピック等身近にあるアナログ画材を使ってのイラスト演習を進め、画材を使用したイラストの表現力・技術力(タッチ、陰影、立体感等)を高める。				
◆概要	アナログ画材の使用をメインに行う。画力の基礎的な技術習得を目指すため授業の開始10分程度は毎回必ず人物クロッキーを行う。人物表現・背景表現の練習やタッチの練習等をカラー画材を用いて段階的に行っていく。中間課題では指定のストーリーに沿ったシーンのイラスト表現を行い、最終課題では架空のメディアで使用されるパッケージイラストの制作を行う。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	クロッキー(以降毎回)／各画材の特性と適する用紙・道具について／各自使用画材の確認 基礎練習:カラー基本				
第2週	基礎練習:カラー基本				
第3週	基礎練習:カラー基本				
第4週	基礎練習:カラー基本				
第5週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作				
第6週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作				
第7週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作				
第8週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作／提出				
第9週	基礎練習:人物表現・背景表現				
第10週	基礎練習:人物表現・背景表現				
第11週	基礎練習:人物表現・背景表現				
第12週	基礎練習:人物表現・背景表現				
第13週	基礎練習:人物表現・背景表現				

第14週	最終課題: 架空CDジャケットパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作
第15週	最終課題: 架空CDジャケットパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作
第16週	最終課題: 架空CDジャケットパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作
第17週	最終課題: 架空CDジャケットパッケージイラストもしくはライトノベルの表紙イラスト制作／提出
第18週	
3. 履修上の注意 アナログ画材の使用を基本とする。使用画材は各自で準備することが望ましい。普段より使用している画材があればそれで構わない。 使用画材に関しては授業初回に個別での相談に応じる他、授業を進めていく中でも別途応じていく。	
4. 使用教材(テキスト等) クロッキー帳・鉛筆 アナログ画材(各自持ち寄り／色鉛筆・水彩絵の具・コピック等／色鉛筆なら24色以上が望ましい) 他必要な画材(用紙等)、プリント類は講師より随時配布する	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 絶対評価 制作物提出および課題に関する評価70%、出欠席に関する評価15%、授業姿勢に関する評価15%	
6. その他 フリーのイラストレーターとして県内外で活動している。その経験を活かし、クライアントが期待するものに対しどのように対応していくかなど含め授業に還元していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィックデザイナー専攻		担当者	溝口	
科目名	広告表現		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	広告デザイン制作習得 写真撮影基礎習得 前期修了作品:簡易パンフレット				
◆概要	一冊の簡易パンフレット制作を通して、広告制作の流れを学びます。 表紙グラフィック、A4・2/3・1/3広告、目次、自由レイアウト、地図作成、段組みレイアウト、写真素材撮影など、DTP広告制作に必要な技術を後期を通して習得します。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	授業説明・考察・ラフ制作				
第2週	ラフ制作				
第3週	ラフ制作				
第4週	ラフ制作				
第5週	外部講師写真撮影				
第6週	外部講師写真撮影				
第7週	外部講師写真撮影				
第8週	外部講師写真撮影				
第9週	デザイン制作				
第10週	デザイン制作				
第11週	デザイン制作				
第12週	デザイン制作				
第13週	デザイン制作				

第14週	デザイン制作
第15週	デザイン制作
第16週	デザイン制作
第17週	デザイン制作
第18週	デザイン制作
3. 履修上の注意	
・ 広告制作に関する素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 ・ 広告制作に関する費用は各自負担となる。 ・ アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの] ・ パンフレット用紙 ・ カメラ等撮影機材	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと(http://designto.info/) 代表。主に県内で活躍。日々の実務内容を授業を実施する中で学生に還元していただき、クリエイターとしての心構えや技術を教育していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	修了制作		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	11月の学校公開日に向けた展示物の制作および、2月末の修了制作展に向けた各種課題の制作				
◆概要	学校公開日で展示する作品の制作。または修了制作展で展示するための一人1研究制作。研究を通し、規則性や展開方法・販売方法などを学習しデザインに活かす。 また12月からは蜂蜜ラベルデザインの制作にあたる				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	学校公開日展示物制作				
第2週	学校公開日展示物制作				
第3週	学校公開日展示物制作				
第4週	学校公開日展示物制作				
第5週	学校公開日展示物制作				
第6週	学校公開日展示準備				
第7週	一人1研究企画・制作				
第8週	一人1研究企画・制作				
第9週	一人1研究企画・制作				
第10週	はちみつラベル企業説明会				
第11週	はちみつラベル企画制作				
第12週	はちみつラベル企画制作				
第13週	はちみつラベル企画制作				

第14週	ラベル中間発表会
第15週	ラベル制作
第16週	ラベル制作
第17週	ラベル制作
第18週	修了制作展準備・展示
3. 履修上の注意	
学校公開日に出展するものは修了制作展でも展示を実施する。	
4. 使用教材（テキスト等）	
授業内で配布するレジュメなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	全学科		担当者	各クラス担任	
科目名	総合演習 1		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	20コマ	授業場所	教室・各実習室	前・後期	前後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルールやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。				
◆概要	クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週 ～ 第38週	一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認 クラス、学校行事及び計画 等				
3. 履修上の注意					
出席時間数等は授業内で指示します。					
4. 使用教材（テキスト等）					
学生の手引き等					
5. 単位認定評価方法					
評価基準:絶対評価 出席時間、取り組みにより評価					
6. その他					

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	小林千尋	
科目名	キャリアプランニング3		必修・選択	必修	
単位数	1 単位	授業形態	講義	年次	2 年
総授業数(予定)	17 コマ	授業場所	MIT普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	本学入学の最大の目的である「希望する業種・職種で職に就く」こと、その後必要となる労働法と社会保険の基礎を学ぶ。				
◆概要	1年次で学習したことを再度確認する。履歴書の改正、電話応対・面接の再練習、企業情報の提供など、目標到達のためのサポートを行う。労働条件等などに加えて、今注目の働き方についても考える。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	キャリアプランニング1、キャリアプランニング2を踏まえて、就活方法、企業・求人情報の確認				
第2週	電話応対、面接を再確認、就活の注意事項、ブラック企業				
第3週	学生の就活とそのサポート、求人票の見方を再度確認				
第4週	学生の就活とそのサポート、「働くこと」と労働者とは				
第5週	学生の就活とそのサポート、労働者を保護する法律と労務契約				
第6週	学生の就活とそのサポート、書面による労働条件				
第7週	学生の就活とそのサポート、内定と内定取消				
第8週	学生の就活とそのサポート、試用期間と就業規則				
第9週	中間テスト 労働法と社会保険				
第10週	学生の就活とそのサポート、労働時間、時間外労働、割増賃金				
第11週	学生の就活とそのサポート、休日・休暇、有給休暇、休憩時間				
第12週	学生の就活とそのサポート、賃金、最低賃金、退職金、賞与				
第13週	学生の就活とそのサポート、社会保険①				

第14週	学生と就活とそのサポート、社会保険②
第15週	学生の就活とそのサポート、産前産後休業、育児休業、介護休業
第16週	学生の就活とそのサポート、解雇、退職
第17週	期末テスト（課題）
3. 履修上の注意	
筆記用具と就活手帳を持参	
4. 使用教材（テキスト等）	
就活手帳、プリント教材	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価OR相対評価	
絶対評価で中間・期末テスト（課題）、授業態度、出席状況	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー 3		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	7月受験:表計算検定各級 10月受験:プレゼンテーション作成検定試験2級				
◆概要	表計算:1年次の学習をもとに、7月に検定を受験する。 パワーポイント:基本的な使い方と、プレゼンの仕方を学ぶ。パワーポイントの基本操作の習得後は、プレゼンテーション検定2級を目標に受験対策を行い合格を目指す。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	表計算模擬問題解答				
第2週	表計算模擬問題解答				
第3週	表計算模擬問題解答				
第4週	表計算模擬問題解答				
第5週	表計算模擬問題解答／プレゼンテーションの基礎知識・パワーポイントの基本操作				
第6週	表計算模擬問題解答／パワーポイントの基本操作				
第7週	表計算模擬問題解答／パワーポイントの基本操作				
第8週	表計算模擬問題解答／プレゼンテーション作成検定試験 2級解答方法解説				
第9週	中間試験／プレゼンテーション作成検定試験 2級解答方法解説				
第10週	表計算模擬問題解答／プレゼンテーション2級模擬問題解答				
第11週	表計算模擬問題解答／プレゼンテーション2級模擬問題解答				
第12週	表計算模擬問題解答／プレゼンテーション2級模擬問題解答				
第13週	プレゼンテーション2級模擬問題解答				

第14週	プレゼンテーション2級模擬問題解答
第15週	プレゼンテーション2級模擬問題解答
第16週	プレゼンテーション2級模擬問題解答
第17週	期末試験
3. 履修上の注意	
検定対策として、各時間2問以上解答し提出する。授業内に終わらなかった場合は期限までに仕上げて提出すること。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
パソコン プリント配布（検定問題解答方法、模擬問題）	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20% ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	堀内 貴彦	
科目名	造形実習 1		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	手に触れられる素材をもとに、指定されたデザインに基づいて正確に造形できる力をつける。 カッター、はさみ、をはじめ各種工具の使用方法を学び、安全に操作できる技術と素材に応じて工具の使い分けができる能力を身につけることを目標とする。				
◆概要	ステンドグラス（ガラス）、木材や加工等を課題として、指定のデザインどおりの造形物を制作する。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	木材加工（題材はイス） イスのデザインを知ろう				
第2週	デザイナーチェアーのミニチュア作成				
第3週					
第4週	イスのデザイン①				
第5週	テーマを設定し各自イスのデザインをしてみよう				
第6週					
第7週	イスのデザイン②模型作成				
第8週					
第9週					
第10週	ガラス加工（題材はステンドグラス（ガラス）） ステンドグラス制作				
第11週	ガラス加工練習				
第12週	ステンドグラス製作				
第13週	デザイン 加工 研磨、コパホイル、ハンダ等				
第14週					
第15週					
第16週					
第17週					
3. 履修上の注意					
工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、切り屑やハンダごてなどで服装を破損する可能性もある作業を行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。					
4. 使用教材（テキスト等）					
テキストはなし。定規や鉛筆類は必要。					
5. 単位認定評価方法					
評価基準：絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。 評価は課題評価による。					
6. その他					

授業内でできない作業等は放課後や家庭で進めること。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	業務演習 1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	適切な言葉でわかりやすく簡潔に、自分の表現したいことが説明できる力をつける。				
◆概要	基本的な作文の書き方、作品紹介、読み手のことを意識した文章を書く練習を通して、就職活動や課題制作の中で求められる文章表現力をつけていく。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	ポートフォリオ用作品紹介作成				
第2週	ポートフォリオ用作品紹介作成				
第3週	ポートフォリオ用作品紹介作成				
第4週	履歴書用自己PR作成				
第5週	履歴書用自己PR作成				
第6週	作文				
第7週	就職活動用作文(文字数・時間制限有)				
第8週	就職活動用作文(文字数・時間制限有)				
第9週	就職活動用作文(文字数・時間制限有)				
第10週	就職活動用作文(文字数・時間制限有)				
第11週	プロフィール紹介の書き方、実践				
第12週	商品紹介の書き方				
第13週	商品紹介				

第14週	商品紹介
第15週	期末課題
第16週	期末課題
第17週	期末課題
3. 履修上の注意	
授業内に終わらなかった課題は期限までに仕上げて提出すること。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
パソコン プリント配布	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	ビジュアルデザイン		必修・選択（注記）	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	1年時の課題を振り返りながら就職活動に活かせる内容の制作物に取り掛かる。後半は学校祭に向けた案内チラシなどを制作する。				
◆概要	既存のチラシをリメイクする（3点）、学校祭に向けた印刷物の制作				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	チラシリメイク#1				
第2週	チラシリメイク#1				
第3週	チラシリメイク#1				
第4週	チラシリメイク#2				
第5週	チラシリメイク#2				
第6週	チラシリメイク#3				
第7週	チラシリメイク#3				
第8週	課題回収				
第9週	学校祭用パンフレット、チラシ、各学科のポスター制作				
第10週	学校祭用パンフレット、チラシ、各学科のポスター制作				
第11週	学校祭用パンフレット、チラシ、各学科のポスター制作				
第12週	学校祭用パンフレット、チラシ、各学科のポスター制作				
第13週	学校祭用パンフレット、チラシ、各学科のポスター制作				

第14週	学校祭用パンフレット、チラシ、各学科のポスター制作
第15週	各種課題制作
第16週	各種課題制作
第17週	各種課題制作
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac、プリント類	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	Webサイトデザイン2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	1年時より更に広くWebに関する知識・技術を学習する科目。 jQueryの扱いやサーバーへのアクセス、CMSの設定やCMSでのサイト制作などを学びます。				
◆概要	1)1年次に制作した各自のサイトにjQueryを用いてスライドなどを作成し、レスポンス化して、レンタルサーバーにアップロードする。 2)CMS(コンテンツマネジメントシステム)を用いてWebサイトを制作。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	jQuery				
第2週	レスポンスウェブデザイン				
第3週	レスポンスウェブデザイン				
第4週	レスポンスウェブデザイン				
第5週	サーバーアップロード Wordpress				
第6週	サーバー接続 Wordpress				
第7週	Wordpress				
第8週	Wordpress				
第9週	Wordpress				
第10週	Wordpress				
第11週	Wordpress				
第12週	Wordpress				
第13週	Wordpress				

第14週	Wordpress
第15週	Wordpress
第16週	Wordpress
第17週	Wordpress
3. 履修上の注意	
・ 課題制作の表現に必要な資材は各自負担となる。	
4. 使用教材（テキスト等）	
配布するテキスト、Mac、1年時に使用したHTML+CSSのデータを使用	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
前職にてWebECサイトの構築などを経験。その経験を活かし、実際の現場で必要だった技術またはクライアントからあった要望についての具体的な例を授業内で還元していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック		担当者	栗田／溝口	
科目名	メディアデザイン2		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目	なし	実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	商品をPRするためのチラシ・広告制作に加え、実際に商品価値を高めるためのパッケージデザインを検証・考案し、簡易なパッケージであれば制作できるようになるまで学習する。なお、各種コンペティションへの参加を検討している。				
◆概要	毎週木曜日のパッケージデザインは、溝口先生よりデザインの方法を学び、他2コマはパッケージデザインの成り立ちや世の中のパッケージデザインの動向、実際の化粧箱の仕組みなどを学ぶ。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	パッケージデザインの種類と要素・技術 市場のパッケージデザインを学ぶ				
第2週	パッケージ観察・スケッチ1 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第3週	パッケージ観察・スケッチ2 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第4週	パッケージ観察・スケッチ3 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第5週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第6週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第7週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第8週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第9週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第10週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第11週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第12週	独自ブランドパッケージ				
第13週	独自ブランドパッケージ				

第14週	独自ブランドパッケージ
第15週	独自ブランドパッケージ
第16週	Adobe dimension
第17週	Adobe dimension
3. 履修上の注意	
テキストを用いた座学は小テストなどを実施するので、配布プリントなどの管理を徹底すること。 なお、毎時間1つのパッケージデザイン組み立てを実習する。	
4. 使用教材（テキスト等）	
パッケージデザインの教科書第3版を配布。主には講師が配布するレジュメを確認。 リサーチなどが発生するのでMacなどを持参すること	
5. 単位認定評価方法	
評価基準：相対評価 制作物提出およびテストに関する評価70%、遅刻欠席に関する評価20%、授業姿勢に関する評価10%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと(http://designto.info/)代表。主に県内で活躍。日々の実務内容を授業を実施する中で学生に還元していただき、クリエイターとしての心構えや技術を教育していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 コミックイラストレーター専攻		担当者	高橋	
科目名	イラストレーション2		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	コミックもしくはイラストレーションの制作を課題とする。初回に個別目標を設定し、以降それぞれの課題に向けて人物から背景まで幅広く表現し完成する力を身に着ける。最終的にはそれぞれの作品発表(イラストレーションは展示や作品集の制作、コミックはオリジナル作品集の入稿など)を目標とする。				
◆概要	基礎描画力の向上を目指すため、授業の冒頭はクロッキーを行う。個別課題を設けた後は主にコミック制作とイラストレーション制作に分かれて個別に課題に取り組んでいく。コミックは指定に沿った4コマ漫画の制作からオリジナル8P漫画の制作へと段階的に取り組む。イラストは線画や着色の技術を今一度さらい、商業的に求められる表現力の向上へと段階を深めていく。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	個別目標設定／クロッキー（以降毎時間行う） 背景練習（提出）				
第2週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったイラストの制作（人物）				
第3週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったイラストの制作（人物）				
第4週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったイラストの制作（人物）				
第5週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったイラストの制作（背景・建物・シンボル等）				
第6週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったイラストの制作（背景・建物・シンボル等）				
第7週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったイラストの制作（背景・建物・シンボル等）				
第8週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作／提出 イラストレーション:お題に沿ったイラストの制作（背景・建物・シンボル等）／提出				
第9週	コミック:お題に沿った8P漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったタブローもしくは絵本制作				
第10週	コミック:お題に沿った8P漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったタブローもしくは絵本制作				
第11週	コミック:お題に沿った8P漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったタブローもしくは絵本制作				
第12週	コミック:お題に沿った8P漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったタブローもしくは絵本制作				
第13週	コミック:お題に沿った8P漫画制作 イラストレーション:お題に沿ったタブローもしくは絵本制作				

第14週	コミック:8P漫画提出／夏休み中課題(オリジナル8P漫画)ラフ イラストレーション:タブローの提出／夏休み中課題(オリジナル作品集)ラフもしくは絵本制作
第15週	コミック:オリジナル8P漫画制作 イラストレーション:オリジナル作品集の制作もしくは絵本制作
第16週	コミック:オリジナル8P漫画制作 イラストレーション:オリジナル作品集の制作もしくは絵本制作
第17週	コミック:オリジナル8P漫画制作 イラストレーション:オリジナル作品集の制作もしくは絵本制作
第18週	コミック:オリジナル8P漫画制作／提出 イラストレーション:オリジナル作品集の制作もしくは絵本制作／提出
3. 履修上の注意 アナログ画材での描画を基本とするが、デジタルでの描画でも構わない。また、制作過程でMacの使用がある。必要なソフトに関しては事前に通達するのでインストールを済ませておくこと。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] クロッキー帳、鉛筆(4B)、用紙等 [個人で用意するもの] 画材、Mac等。都度指示する。	
5. 単位認定評価方法 評価基準:絶対評価 制作物提出および課題に関する評価70%、遅刻・欠席に対する評価15%、授業姿勢に関する評価15%	
6. その他 フリーのイラストレーターとして県内外で活動している。その経験を活かし、クライアントが期待するものに対しどのように対応していくかなど含め授業に還元していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	溝口	
科目名	ブランディング		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	・ロゴマーク制作・小冊子制作を通してデザイン技術と表現方法の向上を図る。 ・Indesignによる冊子デザインの方法を学ぶ。 ・JAGDA学生グランプリに応募し、入選・入賞を目指す。				
◆概要	パソコンやタブレット端末の普及で、情報を伝えるためだけのチラシやPOP制作は専門知識がなくてもそれなりに作れる時代になっています。そんな中必要とされているのが、人の脳を刺激し興味を惹き付ける表現やブランド価値を高めるためのアイデアです。この科目ではグラフィックデザインの基礎技術向上と、アイデアと表現方法について学び、その成果物を各種コンペや校外展示に出品します。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	ロゴマークデザインとは （仮想店舗・仮想ブランドの設定・ラフ制作）				
第2週	ロゴマークデザイン （仮想店舗・仮想ブランドの設定・ラフ制作）				
第3週	ロゴマークデザイン				
第4週	ロゴマークデザイン				
第5週	JAGDA学生グランプリ				
第6週	JAGDA学生グランプリ				
第7週	JAGDA学生グランプリ				
第8週	JAGDA学生グランプリ				
第9週	JAGDA学生グランプリ				
第10週	JAGDA学生グランプリ				
第11週	JAGDA学生グランプリ				
第12週	JAGDA学生グランプリ				
第13週	Indesign				

第14週	PONY制作
第15週	PONY制作
第16週	PONY制作
第17週	PONY制作
第18週	PONY制作
3. 履修上の注意 ・アイデア出しで授業外に課題を行う必要がある。 ・コンペ作品制作課題にて表現に必要な資材は各自負担となる。 ・冊子制作の際の取材に関する費用は各自負担となる。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] ・コンペ応募用台紙 ・各種外注出力 ・作品台紙用ケント紙 ・カメラ等撮影機材 [個人で用意するもの] ・ノートパソコン ・コンペ作品制作用資材 ・冊子制作に関する資材・取材費	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他 デザイン事務所でざいんと(http://designto.info/)代表。主に県内で活躍。日々の実務内容を授業を実施する中で学生に還元していただき、クリエイターとしての心構えや技術を教育していただいている。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	栗田・溝口	
科目名	プロジェクト演習1		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	前半:企業連携企画 ワインラベルデザイン 後半:コラボ授業 パティシエブーランジェ学科との商品企画販売				
◆概要	ワインラベル:花岡純也さんとドメヌ・スリエ(塩尻市)からの依頼で数種類のワインラベルを制作。 コラボ授業:クリエイティブの学生がブランディングを企画し、パティシエの学生さんはその店舗企画に該当する菓子を考案する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	ワインラベル:店舗散策				
第2週	ワインラベル:スタート授業 クライアント来校				
第3週	ワインラベル:研究・リサーチ				
第4週	ワインラベル:制作・添削				
第5週	ワインラベル:制作・添削				
第6週	ワインラベル:制作・添削				
第7週	ワインラベル:制作・添削				
第8週	ワインラベル:制作・添削				
第9週	ワインラベル:制作・添削				
第10週	ワインラベル:制作・添削				
第11週	ワインラベル:制作・添削				
第12週	ワインラベル:制作・添削				
第13週	ワインラベル:制作完了・納品				

第14週	コラボ授業:企画制作
第15週	コラボ授業:制作
第16週	コラボ授業:制作
第17週	コラボ授業:制作
第18週	コラボ授業:井上にて展示販売予定
3. 履修上の注意	
店舗見学など外出の機会が多くなるが、就活生としても恥ずかしくない行動を取ること	
4. 使用教材（テキスト等）	
Macなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所：でざいんと代表 各種デザインの実務経験をより、企画から制作までを実践的に学びます。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	栗田他	
科目名	卒業制作		必修・選択	必修	
単位数	8単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	120コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	2年間の集大成として、最終日の展示に向け制作を進める				
◆概要	第6週までは他教科の補助的時間とする。公開日終了後より、溝口先生サポートのもと、今年度のテーマを決定し、企画書を作成する。企画が通った段階で12/1より制作開始となる。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第2週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第3週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第4週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第5週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第6週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第7週	卒業制作テーマぎめ				
第8週	卒業制作企画書立案				
第9週	卒業制作企画書審査・終了				
第10週	卒業制作・製作開始				
第11週	卒業制作・製作開始				
第12週	卒業制作・製作開始				
第13週	卒業制作・製作開始				

第14週	卒業制作・製作開始
第15週	卒業制作・製作開始
第16週	卒業制作・製作開始
第17週	卒業制作・製作開始
第18週	2/26、27 井上百貨店にて展示会予定
3. 履修上の注意	
制作に必要なものは各自購入する。レシートを持参すれば制作費用から返金する。	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac、その他各自で準備したもの	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	表現技法		必修・選択（注記）	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標 卒業制作を前にさまざまな機材の扱いを身につける					
◆概要 動画制作やクラフト実習の総復習					
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	レーザーカッター、カットプロッター、動画制作から1つジャンルを絞り、3週までに仕上げる				
第2週					
第3週					
第4週	レーザーカッター、カットプロッター、動画制作から1つジャンルを絞り、6週までに仕上げる				
第5週					
第6週					
第7週	レーザーカッター、カットプロッター、動画制作から1つジャンルを絞り、9週までに仕上げる				
第8週					
第9週					
3. 履修上の注意					
ここに設定したジャンルを3週ずつに分け、それぞれ取り組む。					
4. 使用教材（テキスト等）					
パソコンや各自取り組むものの材料					
5. 単位認定評価方法					

評価基準:絶対評価

制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%

6. その他

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	堀内 貴彦	
科目名	造形実習 2		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数（予定）	18コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	手に触れられる素材をもとに、自由なデザインで造形を行う。 必要に応じて自分で素材や加工方法を考え、構想を形にできる力をつけることを目標とする。				
◆概要	立体造形としてオリジナル作品制作（身の回りの素材を利用して造形物を作る）				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	スタンドグラス 自由制作（サイズは指定）				
第2週					
第3週					
第4週	立体造形。 構想、材料集め、加工組立				
第5週					
第6週					
第7週					
第8週					
第9週					
3. 履修上の注意					
工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、刃物や熱などで服装を破損する可能性もある作業を行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。					
4. 使用教材（テキスト等）					
テキストはなし。定規や鉛筆類は必要。					
5. 単位認定評価方法					
評価基準：絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。 評価は課題評価による。					
6. その他					

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	業務演習 2		必修・選択（注記）	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	日本情報処理検定協会主催の各種検定の上位級取得、illustrator・photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート取得等、各自目標を設定し検定対策に取り組む				
◆概要	就職後に求められるスキルの向上のため、各自で目標を設定し検定対策・受験を行う				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	目標検定設定				
第2週	検定対策				
第3週	検定対策				
第4週	検定対策				
第5週	検定対策				
第6週	検定対策				
第7週	検定対策				
第8週	検定対策				
第9週	期末試験（検定受験）				
3. 履修上の注意					
個々に設定した目標達成のためにしっかりと取り組むこと。各時間活動報告書を提出する。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。					
4. 使用教材（テキスト等）					
パソコン					
プリント配布（検定問題解答方法、模擬問題）					
5. 単位認定評価方法					

評価基準:絶対評価

授業態度 20%、中間・期末試験 30%、検定合格 30%、課題 20%

ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	栗田・清水	
科目名	マルチメディア		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	IllustratorやPhotoshopについて更に技術を向上させる また、後半は検定対策として2種類の検定対策の時間を設ける				
◆概要	前半火曜日:学校公開日用の絵本制作、前半木曜日:就職活動 後期火曜日:DTP検定対策、後期木曜日:Webクリエイター能力認定試験対策				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	学校公開日用の制作および就職活動				
第2週	学校公開日用の制作および就職活動				
第3週	学校公開日用の制作および就職活動				
第4週	学校公開日用の制作および就職活動				
第5週	DTP検定対策・Webクリエイター能力認定試験対策				
第6週	DTP検定対策・Webクリエイター能力認定試験対策				
第7週	DTP検定対策・Webクリエイター能力認定試験対策				
第8週	DTP検定対策・Webクリエイター能力認定試験対策				
第9週	DTP検定対策・Webクリエイター能力認定試験対策				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					

第14週	
第15週	
第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	プロジェクト演習2		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標 企業連携または他学科・学校イベントから依頼された制作物の作成					
◆概要 1) 2023年 寅年年賀状デザイン見本の案件を10月末まで実施 2) 学校公開日に向けたイベント準備 3) 飛び込みの企業連携依頼に応じる					
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	年賀状見本制作(～10/23)まで予定				
第2週	年賀状見本制作(～10/23)まで予定				
第3週	年賀状見本制作(～10/23)まで予定				
第4週	年賀状見本制作(～10/23)まで予定				
第5週	学校公開日イベント企画・制作・準備				
第6週	学校公開日イベント企画・制作・準備				
第7週	卒業制作練習課題 テーマ「!!」において各自企画書と制作物の試作品を制作・中間試験で提出				
第8週	卒業制作練習課題 テーマ「!!」において各自企画書と制作物の試作品を制作・中間試験で提出				
第9週	卒業制作練習課題 テーマ「!!」において各自企画書と制作物の試作品を制作・中間試験で提出				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					

第14週	
第15週	
第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	全学科		担当者	各クラス担任	
科目名	総合演習 2		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	2
総授業数(予定)	20コマ	授業場所	教室・各実習室	前・後期	前後期
企業連携科目		実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルールやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。				
◆概要	クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週 ～ 第38週	一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認 クラス、学校行事及び計画 等				
3. 履修上の注意					
出席時間数等は授業内で指示します。					
4. 使用教材（テキスト等）					
学生の手引き等					
5. 単位認定評価方法					
評価基準:絶対評価					
出席時間、取り組みにより評価					
6. その他					

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。